

「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン推進プラン進捗状況(平成31年3月末現在)

〔目標年度〕 ☆…計画期間内での検討又は実施
 〔実施結果〕 ◎…実施済(中) ○…一部実施
 △…準備・検討中 ×…実施困難・凍結

柱	推進項目	実施項目	目標年度	実施結果	実施内容等
協働の環境づくり		・協働推進月間の創設	27	◎	・27年度に協働の「シンボルマーク」と「キャッチフレーズ」を決定(応募点数:48点、392点)。わらびネットワークステーションが発行する情報紙等で活用している。 ・8月に協働推進月間の懸垂幕を市庁舎に掲示し、協働提案事業を募集している。
		・市民と職員合同の協働研修会の実施	28	◎	27年度 新任主査、主任主事、専門員、係長に対して、協働の職員研修を実施。 28～30年度 8月に市民と職員(実務の中心となる係長以下)の協働研修を実施(28年度:市民55名と職員58名の計113名、29年度:市民23名と職員23名の計46名、30年度:市民23名と職員21名の計44名が参加)し、協働の基礎や事例等を学ぶと共に、制度の周知と啓発を行った。
		・協働のまちづくりハンドブックの作成	29	△	協働のまちづくりハンドブックの作成に向けた情報収集等に取り組み、今後の進め方について、わらび市民ネットと協議を実施。 NPO法人わらび市民ネットと共に内容を調整し、平成31年度にハンドブックが完成する予定。
		・協働事業提案制度の充実	30	◎	8月の「協働推進月間」に併せて、前年度の協働提案事業の報告を実施し、次年度の協働提案事業の募集に向けた成果と課題を検証する機会としている。 平成25～29年度に制度を使用した10団体(延べ22団体)と担当した6部署のアンケート調査等を行い、結果を基に制度の改正案を検討した結果、30年度により市民活動団体等が利用しやすくなるよう協働事業提案制度の見直しを行い、新制度で31年度協働事業を募集した。
		・市民参画手法に関するマニュアルの作成	28	◎	28年度 8月に市民参画手続職員マニュアルを作成し、庁内に周知した。 29・30年度 市民参画手続職員マニュアルを再周知した。
市民・事業者等との連携強化		・民間企業等との連携協定の締結	☆	◎	・協定締結件数: 27年度 6件 「(公社)埼玉県宅地建物取引業協会南彩支部」、「河鍋暁斎記念美術館」、「蕨ケーブルビジョン(株)」、「布亀(株)」、「ワタミ(株)」、「(公社)日本下水道管路管理業協会」 28年度 7件 「埼玉司法書士会」、「蕨市管工事指定店組合」、「蕨警察署、蕨市町会長連絡協議会」、「医療生協さいたま生活協同組合」、「株式会社セブン-イレブン・ジャパン」、「生活クラブ生活協同組合埼玉」、「株式会社西武ライオンズ」 29年度 4件 「住宅金融支援機構」、「一般社団法人蕨戸田歯科医師会」、「株式会社ゼンリン」、「燃料小売業5社」 30年度 5件 「コンビニエンスストア・ガソリンスタンド」、「市内郵便局(災害協定及び包括連携協定)」、「株式会社セブン-イレブン・ジャパン、株式会社イトーヨーカ堂」、「栃木県大田原市」
		・つながるバンクの活性化	29	◎	27・28年度 ・つながるバンク登録者による、プレゼンテーション会、ちよこっとセミナーを開催。 28年度 ・アクティブシニアの社会参加支援事業として登録者を対象とした「スキルアップ研修会」を開催したほか、登録者の紹介パンフレットの作成、周知を実施。 29年度 つながるバンクの人材紹介パンフレットを更新し、公共施設等に配布した。また、過去のマッチング事例をまとめ、ホームページで広報するとともに、公民館へ情報提供を行った。また、スキルアップ研修会や市民活動セミナーを開催し、つながるバンク登録者の技能向上を図った。 30年度 つながるバンク登録者によるちよこっとセミナーを開催した。また、スキルアップ研修会や市民活動セミナー等を通じて、つながるバンク登録者の技能向上を図った。また、プレゼンテーション会のあり方等を検討するため、登録者全員を対象とするアンケート調査を実施した。 ・つながるバンク活動状況 ※26年度は登録45件、マッチング17件 27年度 登録61件 マッチング23件 28年度 登録77件 マッチング31件 29年度 登録81件 マッチング39件 30年度 登録78件 マッチング36件
		・コミュニティビジネスへの支援と空き店舗の有効活用	☆	◎	27年度 コミュニティビジネス専門家を講師に受講生13人が「店舗経営のノウハウ」などを全5回学び、店舗運営に向けた事業計画を作成。その計画を基に、駅前通りの空き店舗を活用して、約1か月間、期間限定のチャレンジショップを運営。 28年度 11月(平日開催:参加者8人)と2月(日曜開催:参加者5人)に創業講座を各3回実施。「店舗経営のノウハウ」などを学んだうえで、希望者が10月にリニューアルオープンしたチャレンジレストラン「クアッカ」に出店。 29年度 全5回にわたって女性をターゲットに講座を開催し、25名が参加した。 座学では、創業に関する基礎知識を学び、ビジネスプランの意見交換を行った。 実践編では、希望者、受講生グループが、チャレンジレストラン「クアッカ」(2月19日～3月3日)や市役所ロビー(3月12日～20日)で店舗運営体験を行った。 空き店舗有効活用事業については、補助金の活用はなかったが、埼玉県、蕨商工会議所、蕨市にぎわいまちづくり連合会と連携し、空き店舗解消に向けた空き店舗ゼロプロジェクト事業に取り組んでいる。 30年度 座学編が11月20日～12月11日まで全3回で行われ、合計12名が参加した。 実践編は、2月7日～20日に、市内のハンドメイドショップを会場に「チャレンジショップ」が行われ、5名が参加したほか、チャレンジレストラン「クアッカ」では2月23日～3月16日に、受講者4名がそれぞれ企画した店舗運営体験を行った。 空き店舗有効活用事業については、平成30年度は補助金制度を活用し2店舗が開業した。特に、1店舗は市の創業講座受講生が開業したものであり、空き店舗対策のモデル的事例となった。更に、同講座と連動して、開業に向けて市内の空き店舗を巡る「不動産見学ツアー」も新たにスタートさせた。 また、引き続き、埼玉県、蕨商工会議所、蕨市にぎわいまちづくり連合会と連携し、空き店舗解消に向けた空き店舗ゼロプロジェクト事業に取り組んでいる。
		・民間事業者との連携による窓口サービスの充実	28	◎	27年度 マイナンバー制度に対応するため、住民記録システム等の改修を実施。 28年度 住民票等証明書のコンビニ交付開始に向けたシステム開発を実施。また、必要な手続及び工程試験も遅滞なく完了。 平成29年6月1日よりコンビニ交付事業の実施。 交付部数: 29年度:630部 30年度:1476部
		・自助・共助による地域防災力の強化	27	◎	・市民が自由に土のうを持ち出せる土のうステーションを市内7カ所に設置し、27年6月から運用を開始。 ・全自主防災組織へ交付金を交付 27年度 1,839,722円 28年度 1,812,310円 29年度 1,843,844円 30年度 1,822,248円 ・災害図上訓練を実施 27年度 参加者:92名 ・わらび防災大学校を実施 28年度 参加者:初級編延べ455名、中級編延べ300名 29年度 参加者:初級編延べ205名、中級編延べ161名 30年度 参加者:全9回延べ354名 ・避難所運営訓練を実施 27年度 参加者:145名 28年度 参加者:168名 29年度 参加者:341名 30年度 参加者:180名

柱	推進項目	実施項目	目標年度	実施結果	実施内容等
		・地域力を活かした防犯・交通安全まちづくりの推進	☆	○	<p>・犯罪抑止関連キャンペーン 27年度 8回実施 28年度 8回実施 29年度 5回実施 30年度 5回実施</p> <p>・スケアードストリート教育技法による交通安全教室 27年度 東中学校で実施(武南高等学校を対象) 28年度 東中学校で実施(東中学校生徒、東小学校児童、塚越小学校児童を対象) 29年度 第一中学校、第二中学校で実施(第一中学校生徒、第二中学校生徒を対象) 30年度 東中学校で実施(東中学校生徒、武南高等学校生徒、武南中学校生徒を対象)</p> <p>・交通安全意識啓蒙活動キャンペーン 27年度 29回実施 28年度 29回実施 29年度 27回実施 30年度 28回実施</p> <p>28年度 6月に蕨警察署、蕨市町会長連絡協議会と「蕨市犯罪情報の住民提供等に関する協定」を締結。</p> <p>29・30年度 蕨市犯罪情報の住民提供等に関する会議を開催</p>
		・市民との協働による健康まちづくりの推進	29	◎	<p>・埼玉りそな銀行の協力を得て、蕨支店内のステーションを活用して、埼玉県健康長寿埼玉モデル事業を実施し、利用者の方の健康意識が向上。 平成28年度196人、29年度199人、30年度284人の主観的健康観、体力測定の結果は向上し、医療費の抑制効果が認められた。</p> <p>・市内ウォーキングマップを作成</p> <p>・健康アップサポーター養成事業について、チラシ配付など関係団体への周知を実施。 サポーター養成数: 27年度 44人(累計262人) 28年度 36人(累計298人) 29年度 32人(累計330人) 30年度 75人(累計405人)</p>
	・蕨ブランドの創出	28	◎	<p>27年度 ・専門家のアドバイスを受けながら、蕨商工会議所と連携し、次年度に向けて、蕨ブランドの制度設計(認定の対象、基準、審査方法等)を実施。</p> <p>28年度 ・5～7月に行った蕨ブランド募集に対して9事業者24件の申請があり、5事業者5件を認定。パンフレットを1,000部作成し、2月にお披露目を開催するとともに消費生活展で展示・即売を実施。</p> <p>29年度 ・蕨ブランド認定品について、年間を通じて市内の各種イベントへ出展したほか、「川口市産品フェア」、「彩の国ビジネスアリーナ2018」といった市外の展示会へ出展し、認定品や市のPRを行うとともに、事業者同士のマッチングの機会につなげた。 ・蕨ブランド認定品パンフレットは、販売促進につながるよう、新商品を盛り込んで2,500部増刷し、自社PRに活用していただいている。</p> <p>30年度 年間を通じて市内の各種イベントへ出展したほか、イトーヨーカ堂との協定締結により、10月25日から錦町店の蕨市PRブースにて認定品を常設展示している。また、市外へは「彩の国ビジネスアリーナ2019」へ出展し、認定品や市のPRを行うとともに、事業者同士のマッチング機会につなげた。 販路拡大支援としては、7月に片品村に道の駅が開設したことに伴い、蕨ブランドブースを設けたほか、10月以降、市民体育館やスマイル松原においても、認定品も含めた一部事業者の商品を委託販売している。また、29年度と同様にパンフレットを2,500部増刷した。</p>	
まちの魅力の創出と発信	・マスコットキャラクター・市歌等の有効活用	27	◎	<p>27年度 ・11月の宿場まつりで、リニューアルしたワラビー着ぐるみと、新たに製作したエンジェルわらぶー着ぐるみのお披露目セレモニーを実施。 ・貸出基準等を定めた蕨市マスコットキャラクター着ぐるみ貸出要領を作成。 ・婚姻届出時に、ワラビー、エンジェルわらぶーのぬいぐるみと一緒にの記念写真を職員が撮影するサービスを開始(実施件数 27年度:28件 28年度:40件 29年度:42件 30年度:53件)。</p> <p>28年度 ・ゆるきゃらグランプリ、世界キャラクターさみっとin羽生など各種イベントにキャラクターが参加。 ・11月に電話保留音を市歌へ変更。</p> <p>29年度 ・マスコットキャラクターグッズを製作・販売した。 ・ゆるきゃらグランプリ、世界キャラクターさみっとin羽生など各種イベントにキャラクターが参加。</p> <p>30年度 ・マスコットキャラクターグッズを製作・販売した(「エンジェルわらぶーぬいぐるみ」の再販売の実施)。 ・オリジナル婚姻届を6月から配布開始した。</p>	
	・まちのイメージアップに向けた積極的な情報発信	28	◎	<p>・動画配信をホームページ上で実施。 27年度 連携協定を結ぶ河鍋暁斎記念美術館に関する動画 28年度 三大祭り、プロモーション動画を含む23件の動画 29年度 三大祭りや河鍋暁斎記念美術館展覧会など19件の動画 30年度 三大祭り、プロモーション動画を含む13件の動画</p> <p>・ロケーションサービスとして市内(市役所含む)で撮影を実施。 27年度 4件 28年度 5件 29年度 4件 30年度 8件</p> <p>・蕨市PR大使を委嘱。 27年度 松井咲子さん 28年度 中井広恵さん 30年度 真彩希帆さん</p> <p>・29年度には、NTT東日本との協働により、蕨市市民便利帳・タウンページを、30年度には、㈱サイネックスとの協働により蕨市市民便利帳を発行。</p> <p>・28・30年度に子育てしたいまち情報冊子を作成。不動産業者等へ配布し、市ホームページに特設ページを開設。</p> <p>・30年度にFM NACK5開局30周年特別企画として行われた「埼玉あなたの街自慢コンテスト」において、蕨市が作成したCMが準グランプリを受賞。同CMは、同局で3か月間にわたり、放送された。</p> <p>・公園のイベントやリニューアル等に関して、広報やホームページで情報提供を行い、市内外からの問い合わせが増加。</p>	
	・窓口対応等に関する市民評価の実施	27	◎	<p>市庁舎及び主に窓口対応が想定される公共施設で窓口アンケートを実施。部署別の結果、個別意見はフィードバックし、今後の接遇改善につなげるよう周知。 アンケート結果: 27年度 回答件数:542件。総合結果では75%の利用者が満足、やや満足との肯定的評価。 28年度 回答件数:565件。総合結果では81.9%の利用者が満足、やや満足との肯定的評価。 ※総合評価を除いて、例年とは設問を変更 29年度 回答件数:348件。総合結果では83.3%の利用者が満足、やや満足との肯定的評価。 ※設問は27年度と同内容 30年度 回答件数:402件。総合評価では83.1%の利用者が満足、やや満足との肯定的評価。 ※設問項目を一部変更</p>	
接遇向上運動の推進	・接遇に関する各種研修の実施	27	◎	<p>新規採用職員に対する接遇研修、市民サービス向上研修、上級職員研修Ⅱ(接遇リーダー)、中級職員研修Ⅰ(交渉力向上)を実施し、接遇にかかるとの職場研修により接遇向上の取り組みを推進</p> <p>研修実施者(職場研修除く): 27年度 延べ61名 28年度 延べ51名 29年度 延べ52名 30年度 延べ54名</p>	

柱	推進項目	実施項目	目標年度	実施結果	実施内容等
2 職員力・組織力の更なる向上	職員の能力開発機会の充実	・講師養成講座への職員派遣	27	◎	27年度 地方自治法及び公務員倫理の講師養成講座に各1名を派遣。 28年度 接遇の講師養成講座に1名を派遣。 29年度 地方公務員法及び法制執務の講師養成講座に各1名を派遣。 30年度 接遇の講師養成講座に1名を派遣。
		・職員の資格取得支援制度の検討	28	◎	27年度 職務上必要、有用と認められる資格の範囲や支援の内容等他団体の事例について情報を収集。 28年度 資格取得支援制度を実施する方針を決定し、次年度予算に経費を計上。 29年度 要綱を制定し、運用を開始。 申請件数 4件 30年度 運用を継続。 申請件数 3件
	職員提案制度・業務改善運動の活性化	・職員提案制度の提出月間・表彰制度の創設	28	◎	28年度 8月に職員提案制度及び業務改善運動を統合し、職務上における優れた成果及び功績の報告を追加。10月に新たに創設した職員提案等推進月間を実施し、2月に表彰式を開催。
		・業務改善運動の更なる展開	30	◎	職員提案数:3件 業務改善報告数:4件 成果功績報告数:4件
	簡素で機動力のある組織管理	・部課長方針の更なる活用	27	◎	28年度から部課長方針の前年度検証結果をホームページで公開。
		・少数精鋭の定員管理	27	◎	・定員管理の方針を「単純労務職員は不補充。その他は、医療職を除き、住民サービスの確保に配慮しつつ、行政需要の変化や行財政運営の状況等を踏まえて、第3次蕨市定員適正化計画終了時の職員数を超えない範囲で適正な定員管理を行う。ただし、制度改正等で著しく業務量が増大する場合は、別途対応を検討する。」と定め、適正な定員管理を実施。 職員数: 28年4月1日現在 629名 29年4月1日現在 633名 30年4月1日現在 636名 31年4月1日現在 645名
		・効率的・効果的な組織運営	☆	◎	「行財政運営部会」、「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略策定部会」、「男女平等行政推進会議」、「蕨市特定事業主行動計画策定・推進委員会」、「庁舎整備検討委員会」、「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン策定委員会など必要に応じ、横の連携を重視した庁内組織を設置し、協力体制を構築。蕨市庁舎耐震化整備基本方針を踏まえ、新たに平成30年度から総務部内に庁舎建設室を新設に向けた取組を行うなど、必要な組織改正を行った。
	時代に即した人事管理・制度の運用	・公務員制度改革に対応した人事管理の見直し	28	◎	27年度 改正地方公務員法について、人事評価制度の見直し、退職管理の適正の確保、級別基準職務表の整備等の課題について方針を決定し、平成28年3月に条例・規則を整備。 28年度 5月に改正地方公務員法に関する職員説明会を実施し、退職職員に退職管理の適正の確保に係る通知を行った。 29・30年度 人事評価結果を勤勉手当に反映。 退職職員に退職管理の適正の確保に係る通知を行った。
		・有用な人材の確保	☆	◎	技術職については受験者確保のため、独自日程で採用試験を実施している(その他は統一日程)。 受験者数: 27年度 118名 28年度 145名 ※技術職は二次募集を実施 29年度 117名 ※事務職(福祉)、技術職、保育士は二次募集を実施 ※消防職は、退職者がいなかったため未実施。 30年度 223名 ※事務職(福祉含む)、保健師、保育士、消防職は二次募集を実施
	健康で元気に働く職員・職場づくりの推進	・健康で元気に働く職員・職場づくりの推進	28	◎	27年度 10月に「蕨市パワー・ハラスメント防止要綱」を整備し、11月に職員研修を実施。 28～30年度 メンタルヘルス研修並びにストレスチェック及び医師による面接指導を実施。
	大学との連携の強化	・インターンシップ研修生の受け入れ	☆	◎	28年度 大学からの依頼に基づき、8月に1名インターンシップを受け入れた。 29年度 5月に要綱を制定し、5月末～6月にホームページ等で研修生を募集。 8月に事務職志望の2名を受け入れた。 30年度 8月に事務職志望2名、技術職志望1名の計3名を受け入れた。
		・行政課題の解決に向けた大学連携	☆	△	他自治体事例の調査・研究を実施。 29年11月に、埼玉県大学連携研究会に参加。 (大学ではないが、関連する取組として30年に市内の日本語学校(王子国際語学院)と連携を図り、様々な課題について提案や実践をいただいた。)
	公共施設等のファンリティマネジメントの推進	・公共施設等マネジメント白書の作成	27	◎	(一財)地方自治研究機構との共同研究で、27年度に蕨市公共施設等マネジメント白書を作成。
		・公共施設等総合管理計画の策定	28	◎	28年度 蕨市公共施設等マネジメント白書を踏まえて、公共施設等総合管理計画を策定 29・30年度 施設所管部署に対して建物の劣化状況や計画への取組状況などに関する照会を実施。また、「施設カルテ」及び「維持管理点検マニュアル」の内容について検討を行い、課題の抽出を行った。
		・市税等の収納率の向上	31	◎	・債権管理委員会を8月と2月に開催し、前年度の成果と今年度の取組について意見交換を実施。 収納率: 27年度 93.1%(前年度比+0.5%) 28年度 93.7%(前年度比+0.6%) 29年度 94.6%(前年度比+0.9%) 30年度 95.5%(前年度比+0.9%)
・使用料及び手数料の見直し		29	○	27年度 他自治体事例の調査研究を行うとともに、公共施設等マネジメント白書の作成過程で課題等を把握 28年度 課題等を踏まえて、引き続き、受益者負担適正化に向けた他自治体事例の調査研究を実施。 ・28年4月に道路占用料について本市の地価水準を反映し改定 29年度 使用料及び手数料に関する受益者負担額について調査を実施し、今後の取り組みについての考え方を整理。 ・30年2月に錦町スポーツ広場についてリニューアルオープンにあわせ新たに料金設定 30年度 昨年度の調査の結果、一律の指針を定めて見直すことは難しいと判断し、今後は施設の更新等の際に見直しを検討する。	

柱	推進項目	実施項目	目標年度	実施結果	実施内容等
3 自律した行政運営	自主財源の確保と市税等の収納率の向上	・各種媒体による広告事業の実施	29	◎	<p>・27年度から納税通知書送付用封筒への有料広告掲載を開始。 広告掲載料: 27年度 90,000円(45,000円×2社) 28年度 90,000円(45,000円×2社) 29年度 90,000円(45,000円×2社) 30年度 90,000円(45,000円×2社)</p> <p>・ホームページバナー広告を確保。 広告掲載料: 27年度 1,350,000円(10,000円×135枠) 28年度 1,020,000円(10,000円×102枠) 29年度 910,000円(10,000円×91枠) 30年度 660,000円(10,000円×66枠)</p> <p>蕨市コミュニティバスぶらっとわらび車内掲示有料広告を開始。 広告掲載料 29年度 72,000円(36,000円×2社) 30年度 72,000円(36,000円×2社)</p>
		・ふるさと納税の促進	29	◎	<p>28年9月から返礼品を導入するとともに、民間ポータルサイトを利用し、24時間インターネットを通じた寄附申込を可能とした。</p> <p>寄附コース及び返礼品数: 28年度制度開始時 8コース28アイテム 29年度末 13コース53アイテム 30年度末 22コース47アイテム</p> <p>寄附金受入実績(個人): 28年度 531件・18,143,865円 29年度 402件・15,362,000円 30年度 257件・31,347,000円</p>
	民間活力の積極的な活用	・新たな民間活力の導入と民間委託等の更なる推進	28	◎	<p>27年度 民間活力の導入により、新たに特別養護老人ホーム「いきいきタウン蕨」、障害者グループホーム「紙ふうせん」、認可保育園「ニチキッズわらび保育園」、「メリーポピンズ蕨北町ルーム」、「けやきの森保育園蕨園」が開設。</p> <p>28年度 ・民間活力の導入により、新たに認可保育園「蕨すこやか保育園」、「わらびさくらさくほいくえん」が開設。 ・留守家庭児童指導室について、中央地区(B館)、南町地区(C館)、塚越東地区(B館)の運営を民間委託。</p> <p>29年度 ・民間活力の導入により、新たに認可保育園「蕨ゆたか保育園」が開設された。 ・留守家庭児童指導室について、錦町地区(B館)、中央東地区(B館)、塚越地区(B館)、北町地区(C館)の運営を民間委託した。</p> <p>30年度 ・生活介護等事業所「風」が、交流プラザさくら内に開設。 ・用地確保奨励金の支出等の取り組みにより、特別養護老人ホーム「レーベンホームわらび」が開設。</p>
		・指定管理者制度の充実	28	◎	<p>27年度 ・指定管理者制度導入施設におけるモニタリングマニュアルを作成。 ・公の施設の指定管理者制度に関する指針を改訂し、指針に基づいた指定管理者の公募・選定・指定を実施。</p> <p>28年度 指針に基づく指定管理を開始し、モニタリング実施及び結果公表に向けての準備を実施。</p> <p>29・30年度 指定管理者制度導入施設におけるモニタリング結果公表スケジュールの周知を行い、8月に結果を公表した。</p>
	行政評価に基づいた将来ビジョンの推進	・行政評価の見直しと将来ビジョンの適正な進行管理	31	○	<p>21～24年度に使用した行政評価調書を改善のうえ、4年を1サイクルとして前年度事業の行政評価を実施。</p> <p>対象事業: 27年度 42事業 28年度 40事業 29年度 43事業 30年度 37事業</p>
	蕨駅西口再開発事業の推進と市負担の軽減	・蕨駅西口再開発事業の推進と市負担の軽減	☆	◎	<p>駅前広場等公共施設の計画に関して、JR等関係機関と協議を実施。 準備組合の活動に対し協議・支援を実施。</p> <p>27年度 施設建築物等計画素案の作成</p> <p>28年度 商業需要調査の実施による施設建築物等計画素案の改良、改善</p> <p>29年度 商業調査の結果を踏まえつつ、事業性の向上を目指した施設建築物等計画素案の修正</p> <p>30年度 蕨駅西口地区第一種市街地再開発事業に係る都市計画を変更。 事業化に向けて準備組合が事業計画を作成するための施設建築物等基本設計などの実施。</p>
	土地開発公社経営健全化	・土地開発公社経営健全化の計画的な推進	☆	○	<p>「経営健全化計画(H25～H33)」に基づき、簿価の縮減に努めており、以下の買戻しを実施。</p> <p>27年度 ・中央3丁目「時間貸し駐車場」(地積438.63㎡、簿価834,456,000円) ・区画整理事業等用地(地積88㎡、簿価43,923,000円) ※「債務保証対象土地簿価総額/H23標準財政規模」は0.29。</p> <p>28年度 ・「蕨駅西口第1駐車場」の一部(地積274.00㎡、簿価219,510,168円) ・区画整理事業等用地(地積88㎡、簿価43,923,000円) ※「債務保証対象土地簿価総額/H23標準財政規模」は0.27。</p> <p>29年度 ・「蕨駅西口第1駐車場」の一部(地積274.00㎡、簿価219,510,168円) ・区画整理事業等用地(地積88㎡、簿価43,923,000円) ※「債務保証対象土地簿価総額/H23標準財政規模」は0.25。</p> <p>30年度 ・「蕨駅西口第1駐車場」の一部(地積274.00㎡、簿価219,510,168円) ・区画整理事業等用地(地積104.72㎡、簿価38,170,440円) ※「債務保証対象土地簿価総額/H23標準財政規模」は0.23。</p>
国民健康保険制度に係る検討	・国民健康保険制度の広域化への対応についての検討	☆	◎	<p>27年度 5月に成立した医療制度改革関連法の内容を踏まえ、広域化による財政面や事務処理に関する影響、課題等について調査・検討を実施。</p> <p>28年度 県、市町村等で構成されるワーキンググループの審議状況及び12月に県から示された29年度試算用の国保事業費納付金及び標準保険税率の内容を踏まえ、広域化による影響、課題等について引き続き調査・検討を実施。</p> <p>29年度 広域化等推進会議での議論を踏まえ、事務処理への影響等について調査。 市財政への影響額を試算するため、県から国保事業費納付金や標準保険税率の試算結果が示される毎に、保険税率の見直しの検討を行った。</p> <p>30年度 広域化制度に移行</p>	

実施結果合計 (平成30年度末)	◎…実施済(中)	35
	○…一部実施	4
	△…準備・検討中	2
	×…実施困難・凍結	0

実施済(中)と一部実施を合わせた割合: 95.1%